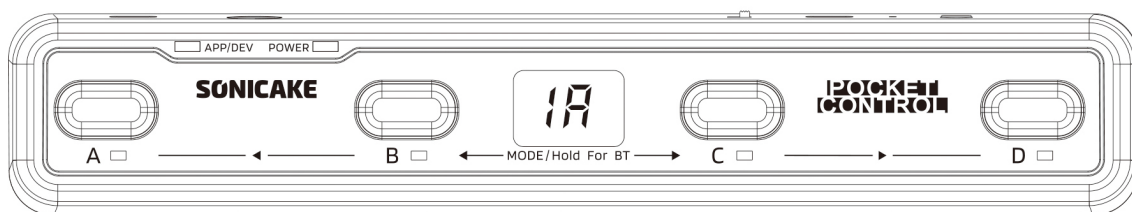


POCKET CONTROL

BT MIDI Controller

ユーザーマニュアル

ファームウェア Ver 1.0.0



SONICAKE

www.sonicake.com

※製品改良のため、仕様や製品内容（外観、パッケージデザイン、マニュアル内容、付属品、サイズ、各種パラメーター、表示画面など）は、予告なく変更される場合があります。詳細については、お近くの販売店または代理店にてご確認ください。

仕様や機能は、使用環境などの要因により、モデルごとに異なる場合があります。掲載されている画像はすべてイメージです。

目次

注意	3
パネル紹介	4
対応ソフトウェア	5
アプリに接続	6
使用シナリオ	6
他の機材をワイヤレスコントローラーとして操作する場合	6
コンピューターとワイヤレスコントローラーとして使用する場合	7
有線MIDIコントローラーとして使用する場合（USB/TRS MIDI経由）	7
編集ページ	9
モード	9
プリセットモードと設定	10
カスタムモードと設定	11
コントロール対象への接続（Pocket Controlのサーバーモード使用）	13
設定ページ	14
EXPペダルのキャリブレーション	16
仕様	16

注意

取り扱い

- ・本機を濡らさないでください。万が一液体がかかった場合は、すぐに電源を切ってください。
- ・通気口をふさがないようにください。
- ・熱源の近くに置かないでください。
- ・落雷などの嵐の際は、機器を取り外して損傷を防いでください。
- ・強い電磁界の中での使用は避けてください。

電源および入出力端子の接続について

- ・ケーブルの接続、取り外しを行う前には、必ず本機およびすべての接続機器の電源をOFFにしてください。
- ・本機を移動する前には、すべての接続ケーブルおよびACアダプターを取り外してください。

清掃

- ・乾いた布のみで清掃してください。

改造・分解

- ・本機を開けないでください。
- ・自分で修理しようとししないでください。
- ・いかなる理由でも筐体を開けると、メーカー保証は無効になります。

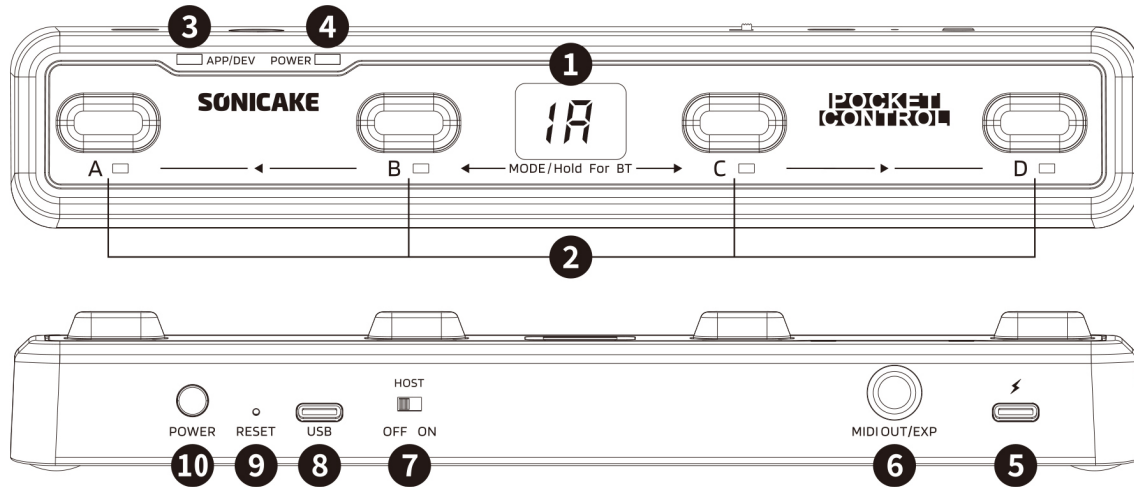
電源アダプター使用上の注意

- ・必ずDC 5Vのアダプターを使用してください。指定以外のアダプターを使用すると、機器の故障や誤動作、また安全上の危険につながる恐れがあります。
- ・電源アダプターに記載されている電圧範囲の要件に注意してください。
- ・雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。

故障時の対応

- ・本機が故障した場合は、すぐにDCアダプターを抜き、電源をオフにしてください。その後、すべての接続ケーブルを取り外してください。
- ・機種名、シリアル番号、具体的な不具合の症状などの情報を準備し、サポート（support@hotone.jp）までご連絡ください。

パネル説明



① デジタルディスプレイ

プリセット、モード、その他のシステム情報を表示します。

② 「A/B/C/D」キー

- ・「A/B/C/D」をそれぞれ単独で押すと、現在のプリセット内で異なるMIDIメッセージを送信します。
- ・「A」+「B」を同時に押すと、前のプリセットに切り替わります。
- ・「C」+「D」を同時に押すと、次のプリセットに切り替わります。
- ・「B」+「C」を同時に押すと、モードを切り替えます。
- ・「B」+「C」を長押しすると、BT(Bluetooth)機能の有効無効を切り替えます。

③ APP/DEV接続ステータスインジケータ

- ・青点滅：接続待機中
- ・青点灯：デバイスに受動接続中
- ・緑点灯：デバイスに能動接続中
- ・シアン点灯：能動/受動の同時接続

④ 電源インジケータ

- ・緑：バッテリー残量十分（35%以上）
- ・黄：バッテリー残量少（10%～35%）
- ・赤：バッテリー残量危険レベル（10%未満）

⑤ USB充電

デバイスの充電に使用します。

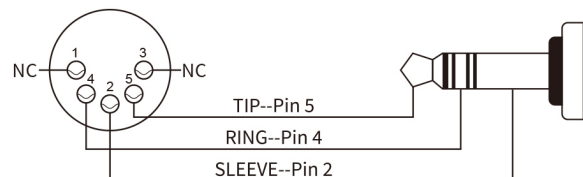
⑥ MIDI OUT / EXPポート

1/4インチ（6.35mm）TRS端子

エクスペッションペダル入力およびMIDI出力用

エクスペッションペダルを接続したり、MIDI信号を送信したりします。

*標準の5ピンMIDI端子を持つ機器に接続する場合は、下図のようなアダプターケーブルを使用してください。



⑦ HOSTスイッチ（HOST Switch）

MIDI HOST機能のオンオフを切り替えるために使用します。

⑧ USB Type-Cポート（USB Type-C Port）

機能：充電、USB MIDI通信

*HOSTスイッチがオンの状態では、本機をMIDIホストとして使用でき、他の機器を制御したり、電源供給を行うことができます。（充電ポートが電源に接続されている場合）

⑨ リセットボタン

本機が応答しない場合に使用します。SIMピンなどの細い工具が必要です。

⑩ 電源スイッチ

長押しで電源のオンオフを行います。

対応ソフトウェア

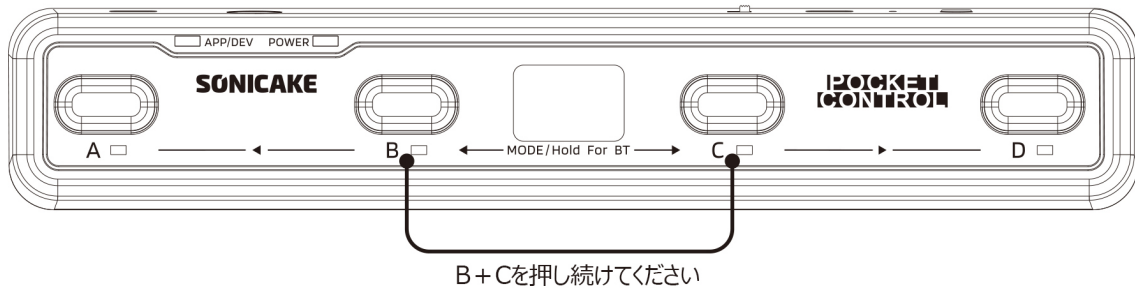
Pocket ControlをAndroidまたはiOSデバイスに接続すると、無料のPocket Controlソフトウェアを使用して、MIDI情報の編集、プリセット管理、ファームウェアのアップデートなど、さまざまな機能进行操作できます。

Pocket Controlソフトウェアは、AndroidおよびiOSの両方のプラットフォームに対応しています。

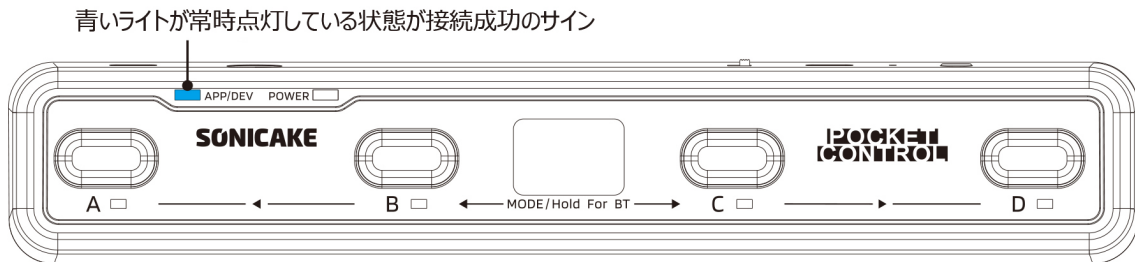
各アプリストアから「SONICLINK」と検索し、ダウンロード、インストールしてください。

アプリに接続

1. デバイスの電源が入っている状態で、B + Cボタンを長押ししてBluetooth (BT) 機能を起動します。

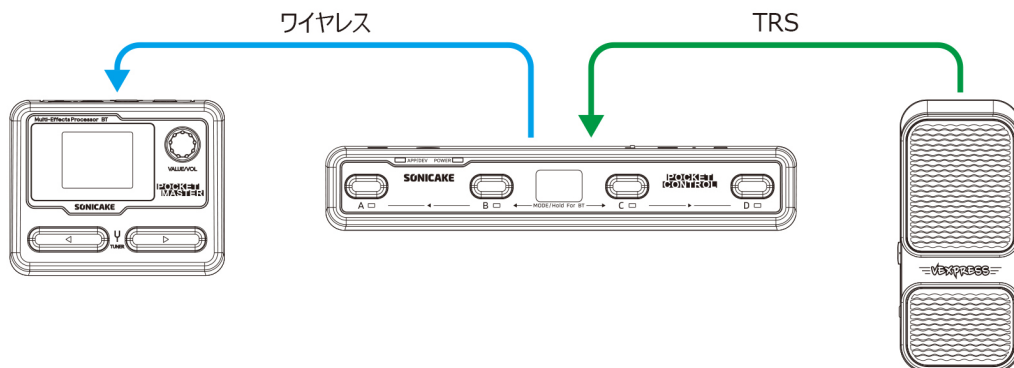


2. スマートフォンまたはタブレットのBluetooth接続をオンにし、「SONICALINK」アプリを開きます。
3. 初めて使用する場合、SONICALINKはBluetooth接続の許可、Androidであれば位置情報の許可を求めます。これらが表示されたら「許可」してください。その後、アプリが自動的に近くのデバイスを検索します。
4. デバイスがデバイス一覧に表示されたら、それを選択し、画面下部の「Connect Device」をタップしてペアリングを完了します。
5. Pocket Controlの接続ステータスライトが青色で点灯し続けられれば、Bluetooth接続が正常に完了したことを示します。



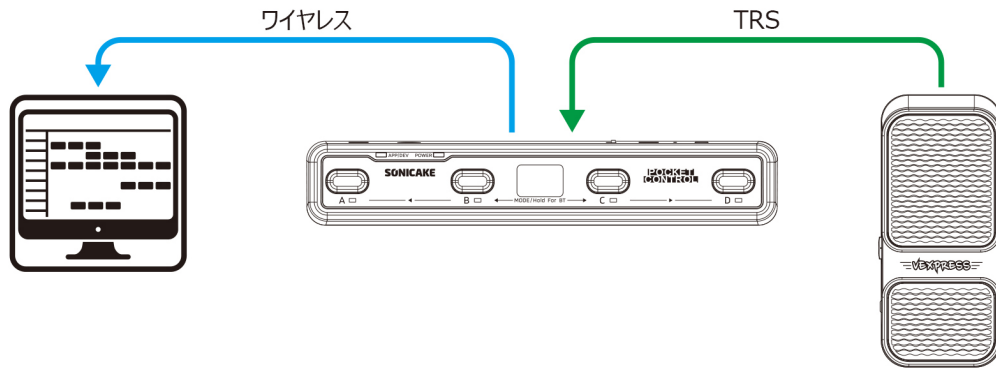
使用シナリオ

他の機器を操作するワイヤレスコントローラーとして使用



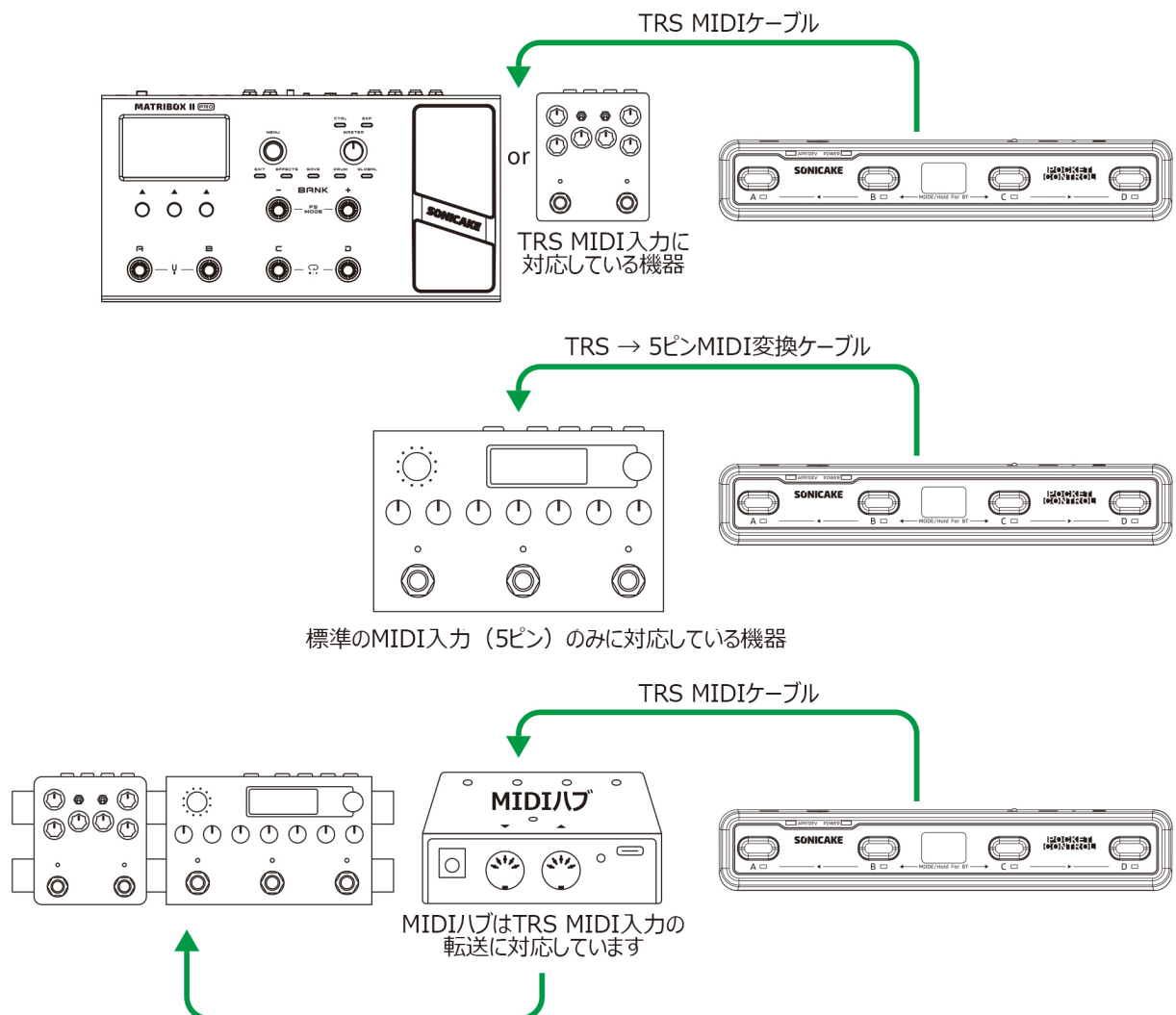
Pocket Controlをターゲット機器（例：Pocket Master）にワイヤレスで接続し、MIDI OUT/EXPポートを使用して外部ペダルを利用できます。この場合、ワイヤレス接続を維持したまま、アプリを同時に使用することが可能です。

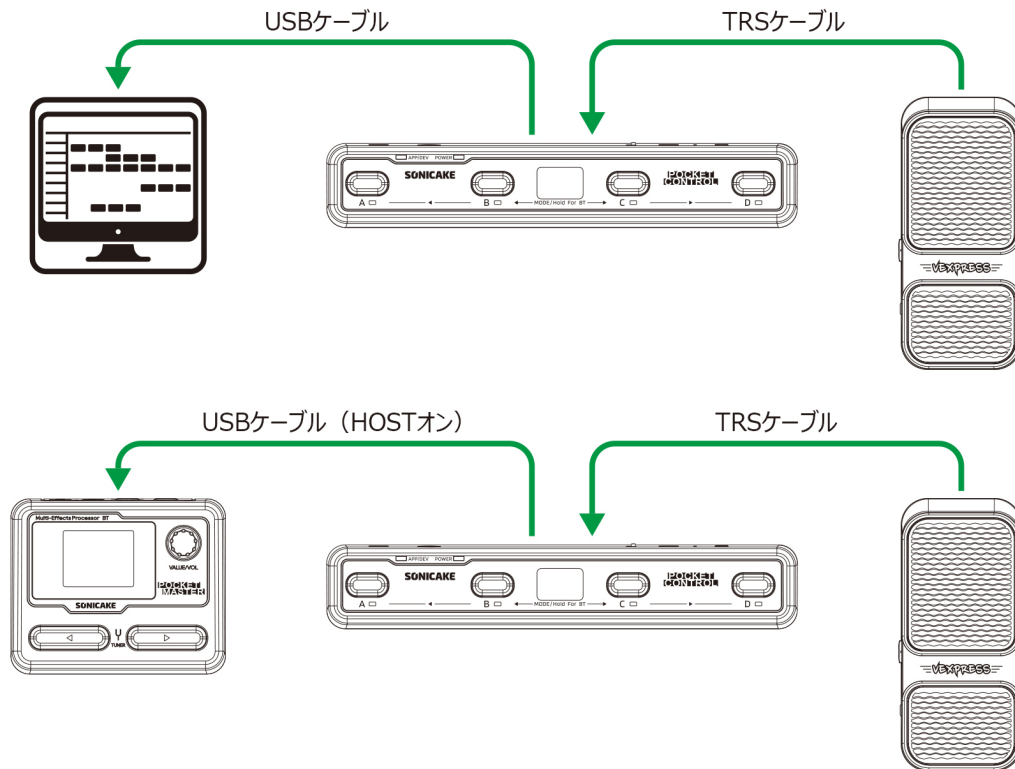
コンピューターでワイヤレスコントローラーとして使用する場合



この場合、Pocket Controlはコンピューターにワイヤレスで接続され、MIDI OUT/EXPポートを使用して外部コントロールペダルを接続できます。コンピューターに接続する前に、まずアプリとの接続を解除する必要があります。

有線MIDIコントローラーとして使用する場合（USB/TRS MIDI経由）





この場合、ユニットはUSBケーブルまたはTRS MIDIケーブルで機器に接続されます。

- ・機器がTRS MIDI入力に対応している場合は、TRS MIDIケーブルで接続します。

接続前にTRS MIDIの互換性（MIDI OUT/EXP）を確認してください。

- ・機器が5ピンMIDI入力のみに対応している場合は、TRS→5ピンMIDI変換ケーブルで接続します。

接続前に変換ケーブルの互換性（MIDI OUT/EXP）を確認してください。

- ・複数の機器（例：複雑なペダルボード）をコントロールする場合は、TRS MIDI入力の転送に対応したMIDIハブが必要になることがあります。Pocket Controlと他の機器をMIDIハブに接続し、用途に応じて設定してください。

- ・外部コントロールペダルは、コンピューターに接続している場合、またはUSB HOST機能を使用して機器をコントロールしている場合にのみ、MIDI OUT/EXPポート経由で接続できます。

- ・USB HOST機能を有効にすると、Pocket Controlはホストとして動作し、USB経由で機器に接続・コントロールできます。

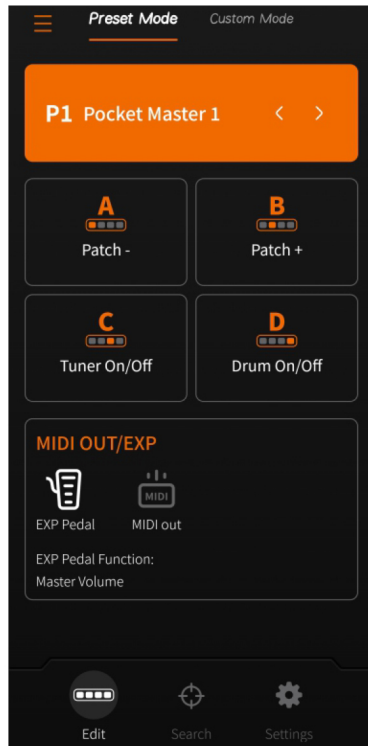
同時に外部電源の供給や、接続された機器への充電もUSBポート経由で行えます。

編集ページ

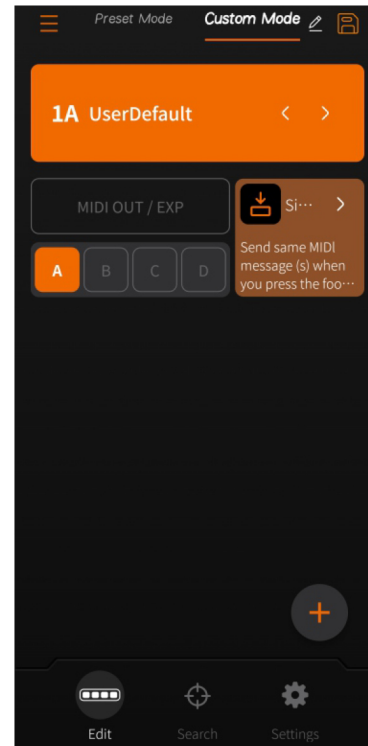
本機には、2つの異なる編集インターフェース、プリセットモードとカスタムモードがあります。

プリセットモードにはあらかじめ設定されたパラメータが用意されており、対応するデバイスのプリセットをそのまま選択して使用できます。

カスタムモードでは、ユーザーが自由にパラメータを設定し、さまざまな機器をコントロールすることができます。



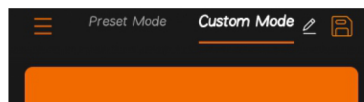
プリセットモード



カスタムモード

モード

Pocket Controlは、さまざまな機器に対応する複数のモードをサポートしています。アプリ上部のモード一覧をタップして切り替え、使用したいモードを選択してください。より高度な設定が必要な場合は、カスタムモードを使用できます。



プリセットモードと設定

以下に手順が表示されています。



シンプルモードでMIDI OUT/EXPジャックを設定：

必要に応じて、外部コントローラーのタイプを設定するか、MIDI OUT/EXPジャックをMIDI出力として使用できます。

EXPペダルの機能は現在のモードによって異なり、編集することはできません。

【注意】使用可能なMIDI OUT/EXP機能の選択は現在のモードに依存します。例えば、一部のモードではMIDI出力をサポートしていません。

カスタムモードと設定

以下に手順が表示されています。

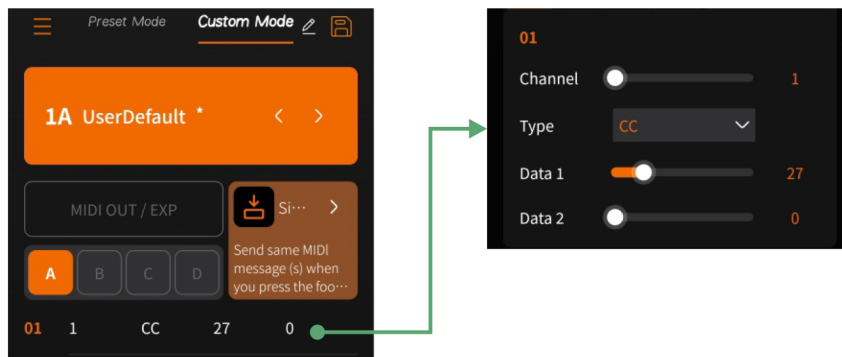


フットスイッチの設定

以下の手順に従ってください。

- フットスイッチを選択します。
- モードボタンをタップしてフットスイッチのモードを選択します。Pocket Controlには4つのフットスイッチモードがあります。
 - Single：フットスイッチを押したときに同じMIDIメッセージを送信します。
フットスイッチを離したときにMIDIメッセージが送信されます。
 - Toggle：2つの異なる（A/B）MIDIメッセージグループを設定できます。
フットスイッチを繰り返し押すことで、A/Bメッセージグループを切り替えてMIDIメッセージを送信します。
フットスイッチを離したときにMIDIメッセージが送信されます。
 - Momentary：2つの異なる（A/B）MIDIメッセージグループを設定できます。
フットスイッチを押すとグループAのMIDIメッセージが送信され、離すとグループBのMIDIメッセージが送信されます。
 - Hold：フットスイッチを押し続けると、1つのMIDIメッセージまたはメッセージグループを一定間隔で繰り返し送信します。
フットスイッチを1回押すことで、グループ内の最初のMIDIメッセージを1回送信できます。
その場合、MIDIメッセージはフットスイッチを離したときに送信されます。
- 画面右下の **+** ボタンをタップして、必要に応じて最大16個までMIDIメッセージを追加します。

4. MIDIメッセージボタンをタップして、メッセージの詳細を編集します。



本機は4種類のMIDIメッセージタイプ、PC（プログラムチェンジ）、CC（コントロールチェンジ）、Note On、Note Off、をサポートしています。

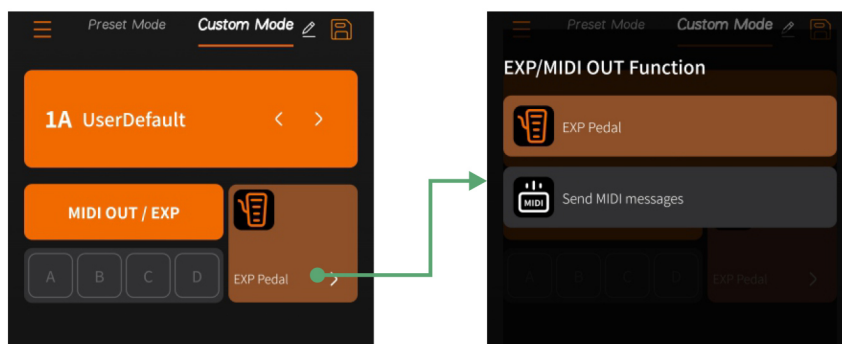
5. 必要なすべてのフットスイッチを編集した後は、画面右上の「Save」ボタンをタップして変更を保存するのを忘れないでください。保存しない場合、すべての変更は失われます。

カスタムモードでMIDI OUT/EXP機能を設定する

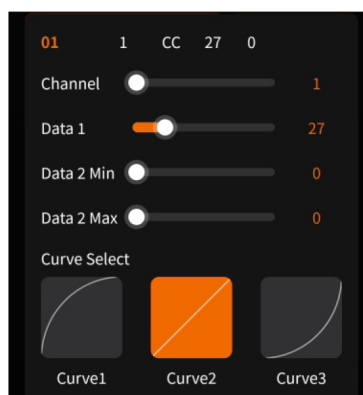
カスタムモードでは、エクスプレッションペダルをMIDI OUT/EXPジャックに接続した場合、それに対してMIDIメッセージを設定できます。シンプルモードと同様に、MIDI OUT/EXPジャックをMIDI出力として使用することもできます。

以下の手順に従ってください。

1. MIDI OUT/EXPタブを選択します。（上記参照）
2. 必要に応じて機能を選択します。



3. 外部コントローラーを接続している場合は、必要に応じて外部フットスイッチコントローラー用のMIDIメッセージを設定します。

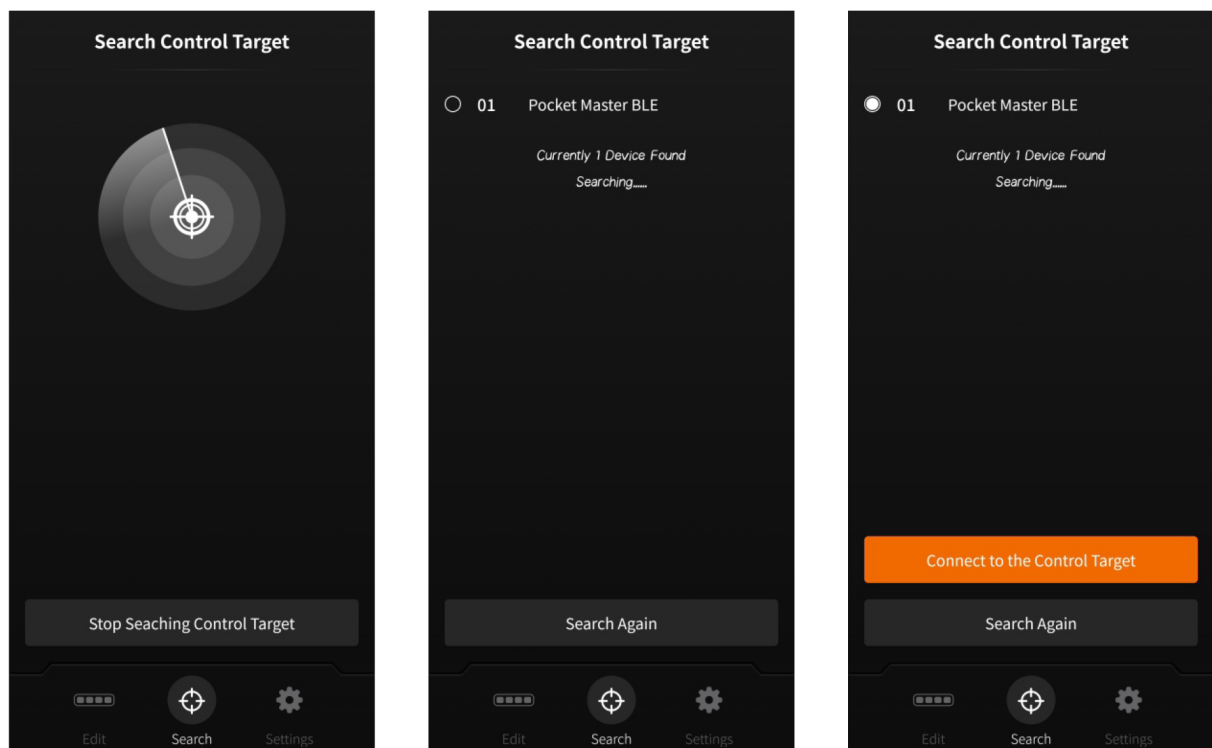


エクスプレッションペダルについては、CCメッセージのみサポートされており、MIDIメッセージの最大数は4です。
Data 2 Min（かかと側）および、Data 2 Max（つま先側）を使用してコントロール範囲を設定します。
ほとんどの場合は、min=0、max=127に設定するだけで問題ありません。
Curveを使用して変化カーブを設定します。デフォルトはLineに設定されています。
編集後は、すべての設定を必ず保存してください。

コントロール対象への接続

（Pocket Controlのサーバーモード使用）

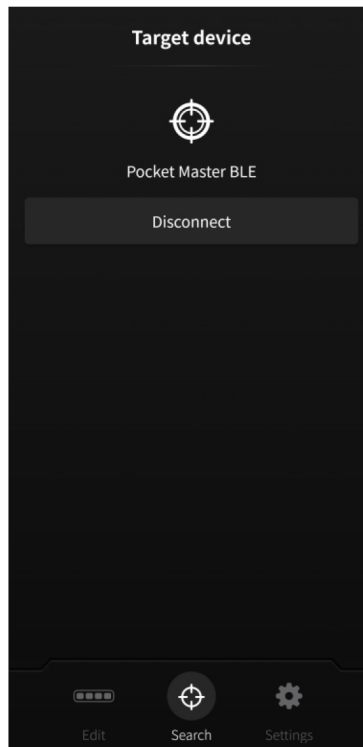
すべての設定が完了したら、ワイヤレスでターゲットデバイスに接続する準備ができます。
編集ページで「Search」ボタンをタップします：



本機は周囲のすべてのデバイスを自動的にスキャンします。

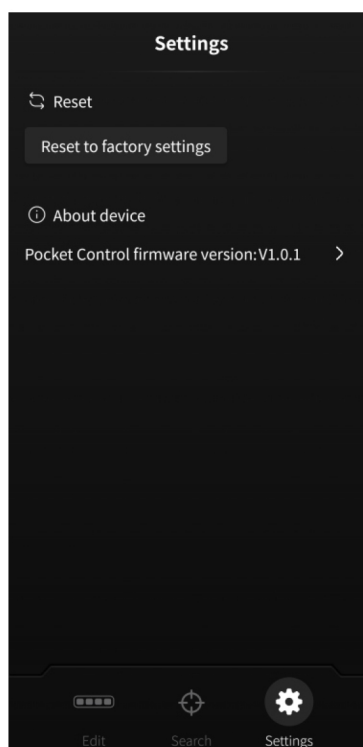
ターゲットデバイスがリストに表示されたら、それを選択し、画面上の「Connect To The Control Target」ボタンをタップします。

切断するには、「Disconnect」をクリックするだけです。



設定ページ

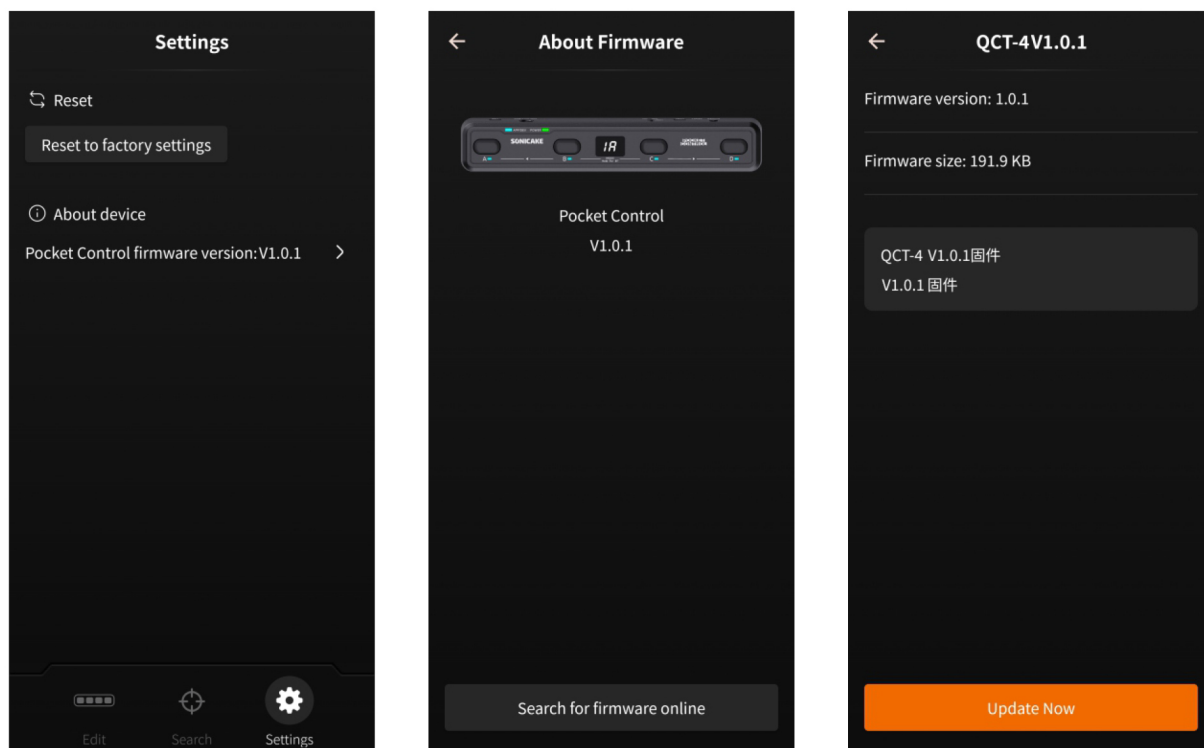
このページでは、ファームウェアのアップデートおよび工場出荷時設定へのリセットを実行します。



ファームウェアアップデート

以下の手順に従ってください。

1. 「About device」ボタンをクリックして、ファームウェア情報メニューに入ります。
2. 「Search for firmware online」をクリックして、Pocket Controlで現在利用可能なすべてのファームウェアを検索します。
検索が完了すると、利用可能なすべてのファームウェア情報が表示されます。
3. ファームウェアファイルをタップすると、詳細情報が表示されます。「Update Now」をクリックしてファームウェアを更新します



進行状況はプログレスバーで表示されます。

4. アップデートには数秒かかる場合があります。完了するとデバイスは切断され再起動します。
その後、デバイスを再接続する必要があります。

【注意】

1. アップデート中は必ずファームウェア更新ページに留まり、電源を切ったり接続を切断したりしないでください。
更新に失敗するとデバイスが正常に動作しなくなる可能性があります。
2. アップデート中は、電波干渉を避けるため、Pocket Controlとスマートデバイスを1m以内に保ってください。

工場出荷時リセット

「Factory Reset」をタップすると工場出荷時リセットを実行します。

これには数秒かかります。

警告：これによりすべてのユーザーデータが消去されます。

EXPペダルのキャリブレーション

キャリブレーション機能は、エクスプレッションペダルの調整を行うためのものです。ペダルが正しく動作しない場合や、MIDIメッセージ送信時の変化量が少なすぎる／多すぎると感じる場合は、キャリブレーションを行うことが重要です。電源を入れる際にフットスイッチDを押し続けると、エクスプレッションペダルのキャリブレーションモードに入ります。このとき、インジケータが交互に点滅し、画面には「EP」と表示されます。エクスプレッションペダルを接続し、つま先（トゥ）からかかと（ヒール）までを少なくとも4回以上繰り返し動かしてください。その後、再度フットスイッチDを押すと、キャリブレーションが保存され、通常モードで起動します。

仕様

電源：内蔵バッテリー（USB充電対応）

EXPペダルの最大ポット抵抗：25kΩ

バッテリー駆動時間：12時間

動作範囲：最大7.5m

サイズ：225.6mm（幅）×40.1mm（奥行）×29.8mm（高さ）

重量：168g